

平成27年度
第2回基本政策審議会資料

～市民生活の向上と岡山の担い手づくり～

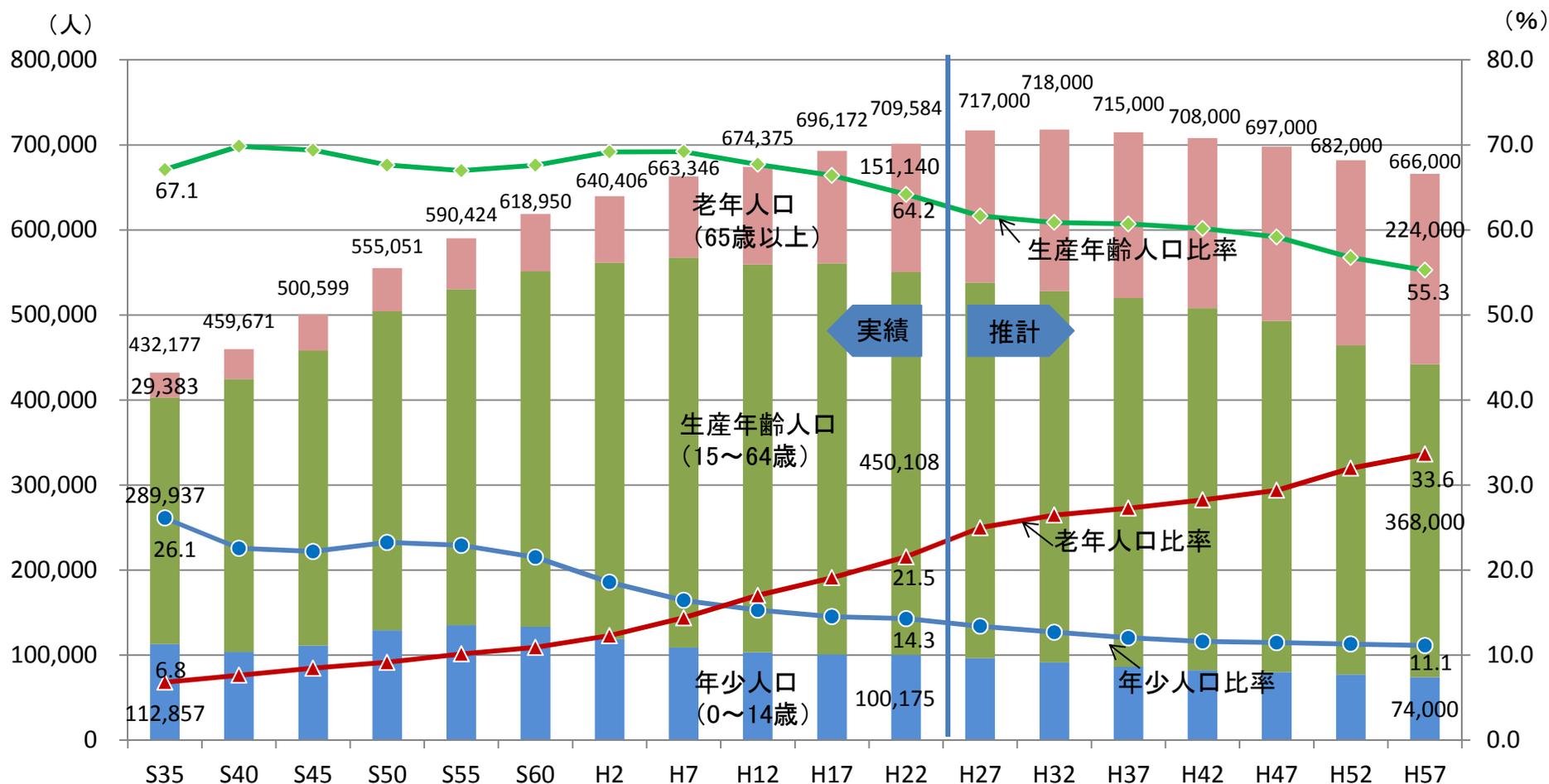
①健康・医療・福祉

岡山市の長期的な人口

○岡山市は、平成32年の718,000人をピークに人口減少期に突入する。平成57年には平成7年と同水準の666,000人となり、平成22年から6.1%減少する。その間、少子・高齢化は確実に進行し、年齢構造は過去とは大きく異なるものとなる。

○生産年齢人口は、平成22年の450,108人(64.2%)から、平成57年には368,000人(55.3%)となり、構成比は8.9ポイント低下する。

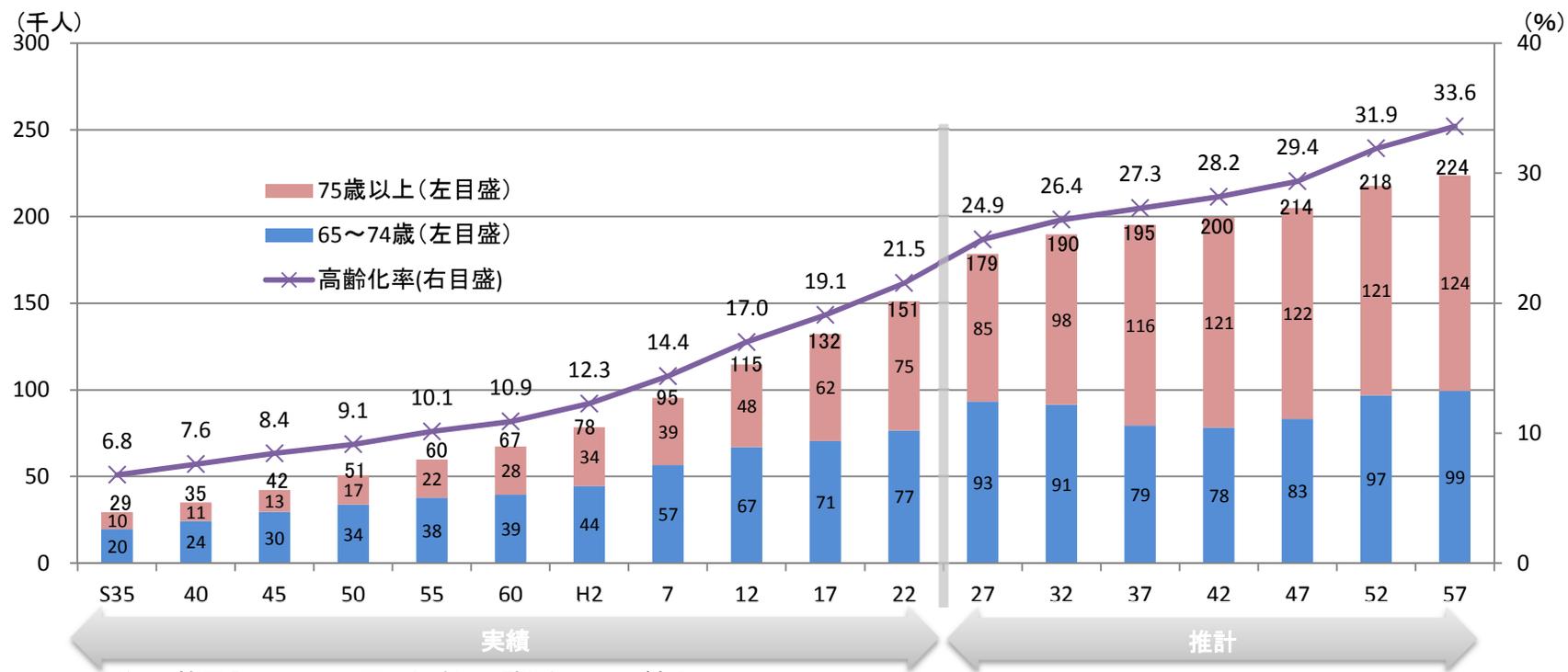
○老年人口は、平成22年の151,140人(21.5%)から、平成57年には224,000人(33.6%)となり、構成比は12.1ポイント上昇する。



※国勢調査の総数には年齢「不詳」を含む。ただし、構成比は年齢「不詳」を除いて算出。 資料：S35～H22は総務省国勢調査、H27～57は岡山市推計

岡山市の高齢者数および高齢化率の推移と推計

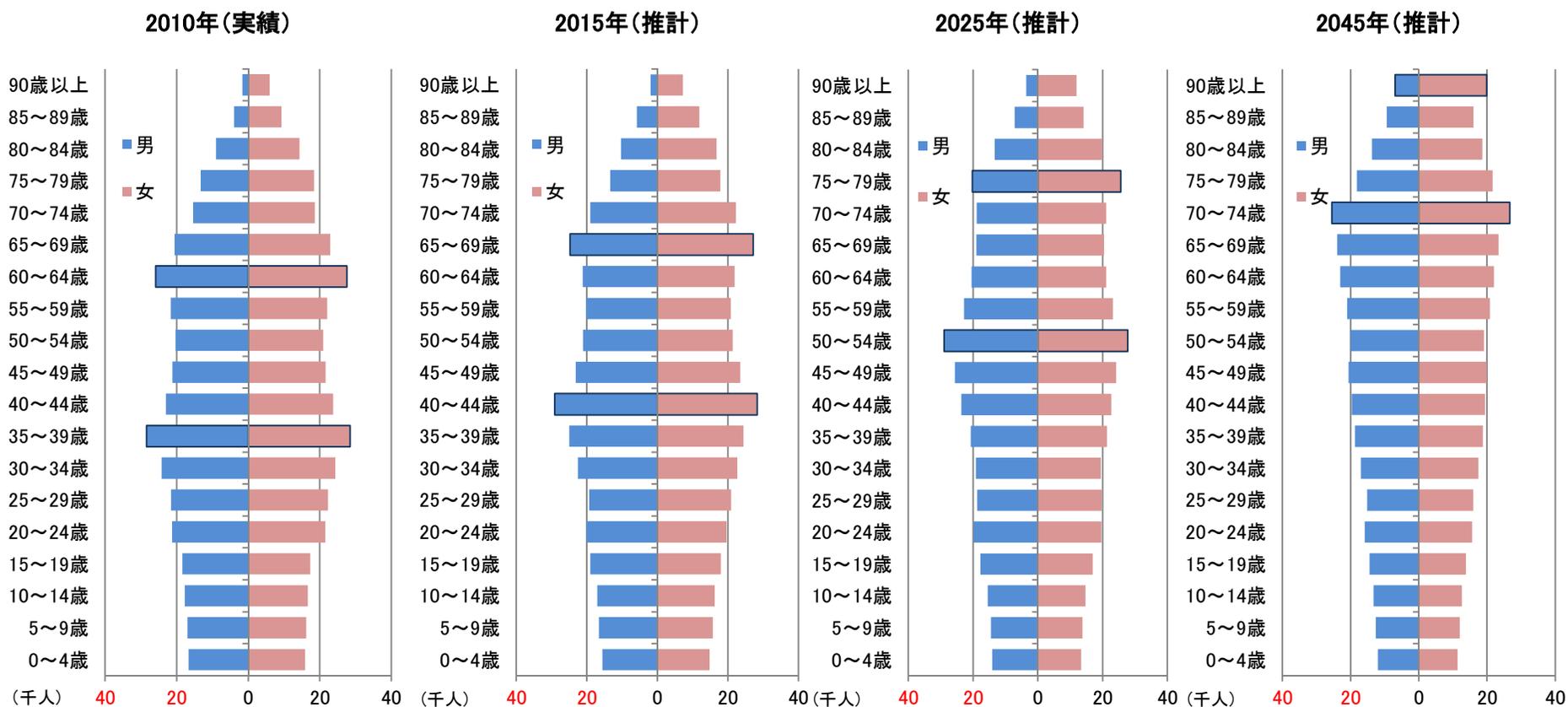
- 平成22年(2010年)と比較すると、平成37年(2025年)には75歳以上の後期高齢者が約4万1千人増加する。
- 高齢化率は全国平均より緩やかに推移する見込みである(H52年:岡山市31.9%、全国36.1%)。



注: 四捨五入のため、内訳と合計は一致しないことがある。
資料: 総務省「国勢調査」、岡山市推計

岡山市の人口ピラミッドの変化(2010年～2045年)

○岡山市の人口構造の変化をみると、平成22年(2010年)時点で、1人の高齢者を3.6人で支えている。
 ○少子高齢化が一層進行する平成37年(2025年)は、1人の高齢者を2.7人で支えることになると想定される。
 ○さらに平成57年(2045年)には、1人の高齢者を2.0人で支えることになると想定される。



65歳～人口	1人
20～64歳人口	3.6人

65歳～人口	1人
20～64歳人口	3.0人

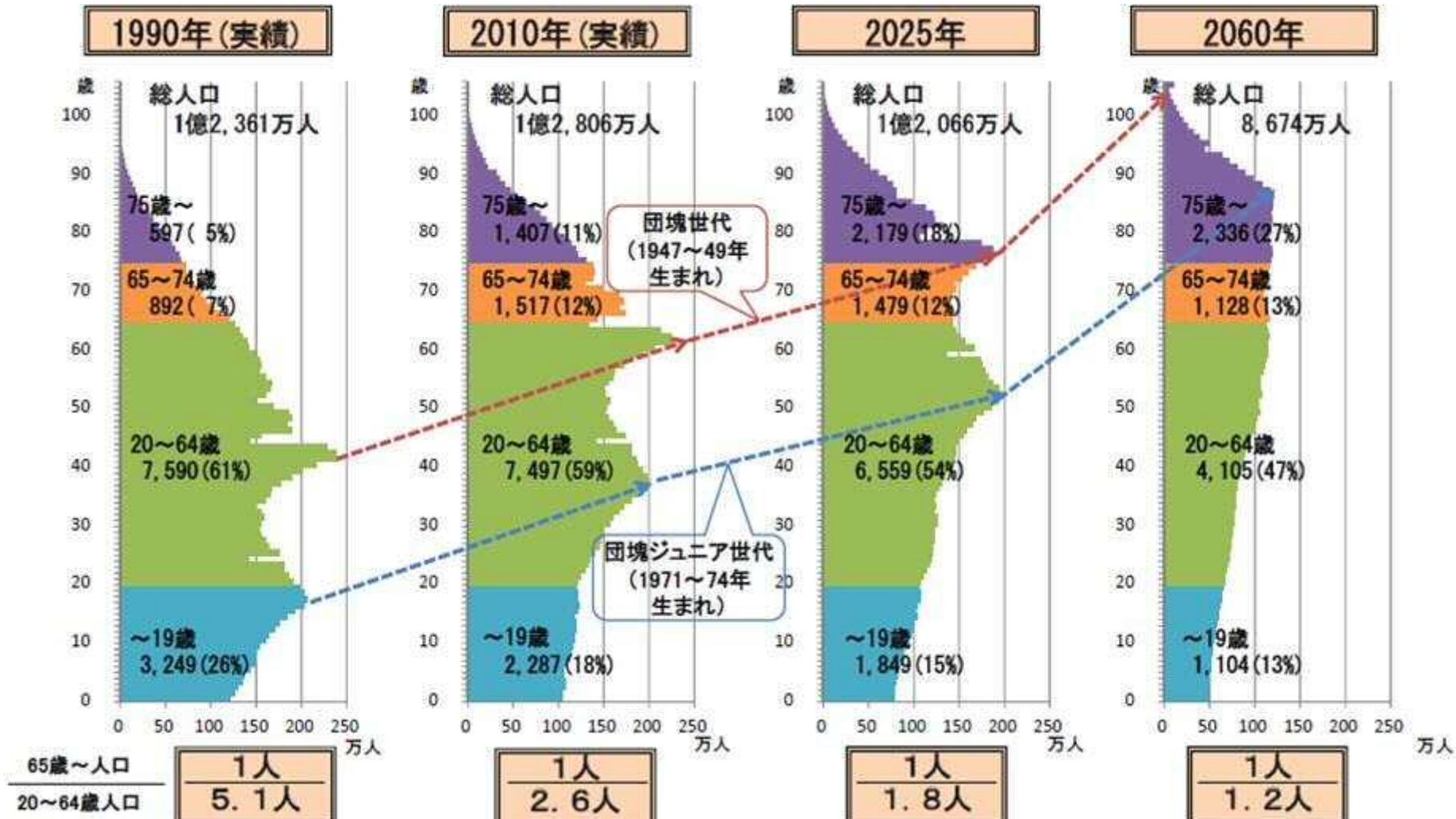
65歳～人口	1人
20～64歳人口	2.7人

65歳～人口	1人
20～64歳人口	2.0人

資料:岡山市推計

日本の人口ピラミッドの変化(1990年～2060年)

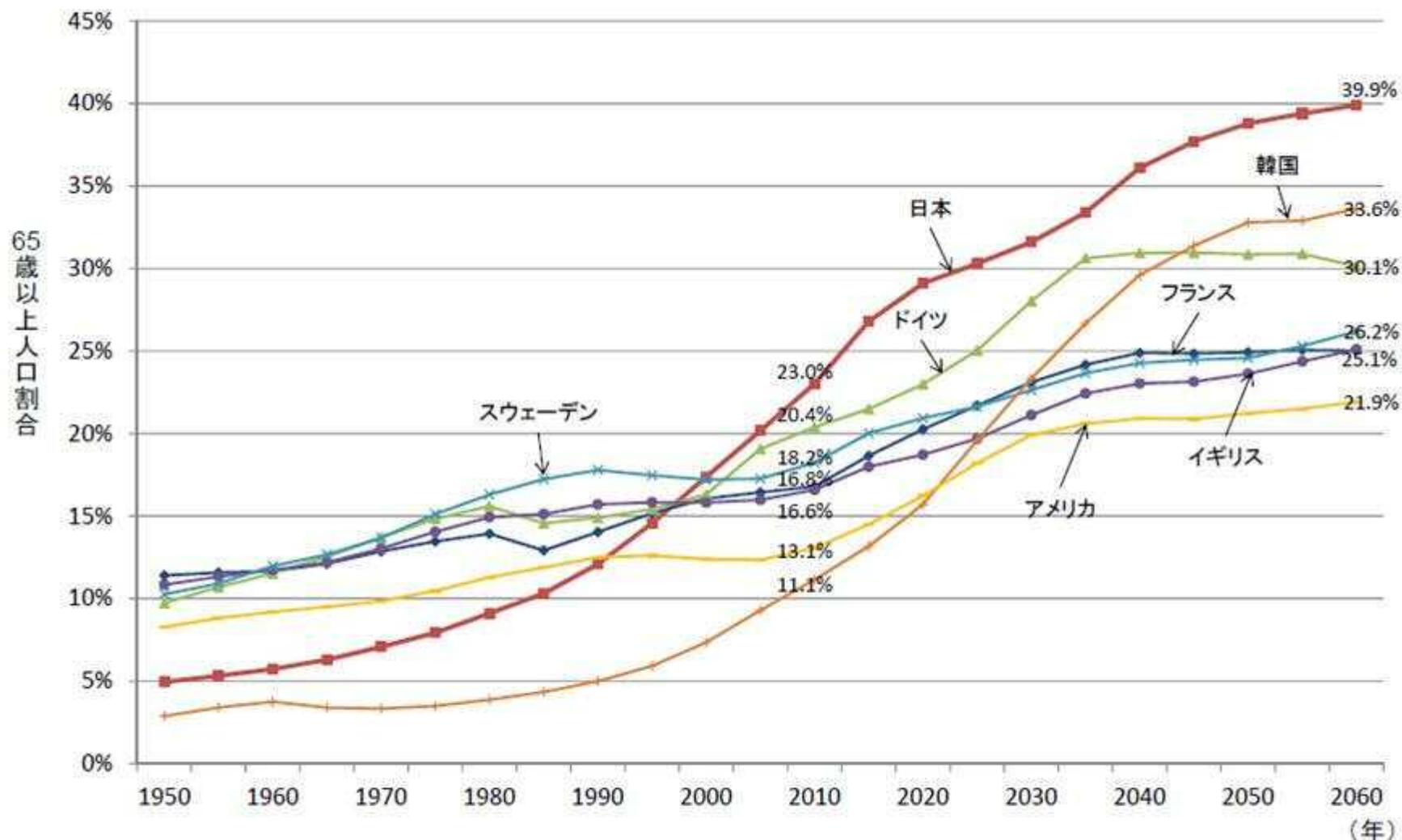
- 日本の人口構造の変化をみると、平成22年(2010年)は1人の高齢者を2.6人で支えている社会構造になっている。
- 少子高齢化が一層進行する平成37年(2025年)は1人の高齢者を1.8人で支える社会構造になると想定される。
- さらに平成72年(2060年)には1人の高齢者を1.2人で支える社会構造になると想定される。



資料:厚生労働省資料

主要先進国の65歳以上人口割合の推移

○先進諸国の中でも、日本は急速に高齢化が進行している。



(出所) 日本は、総務省「国勢調査」、国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口(平成24年1月推計):出生中位・死亡中位推計」(各年10月1日現在人口)
諸外国は、United Nations, World Population Prospects 2010

日本の2025年における高齢者の状況

- 75歳以上人口は平成37年(2025年)には2,179万人となり、平成24年(2012年)の1,511万人から約670万人増加する。
- 認知症高齢者は平成24年(2012年)の462万人から平成37年(2025年)には約700万人と約240万人増加する。
- 高齢者単独世帯、夫婦のみ世帯は平成24年(2010年)の1,038万世帯から平成37年(2025年)には1,346万世帯と約300万世帯増加する。

高齢者の増加

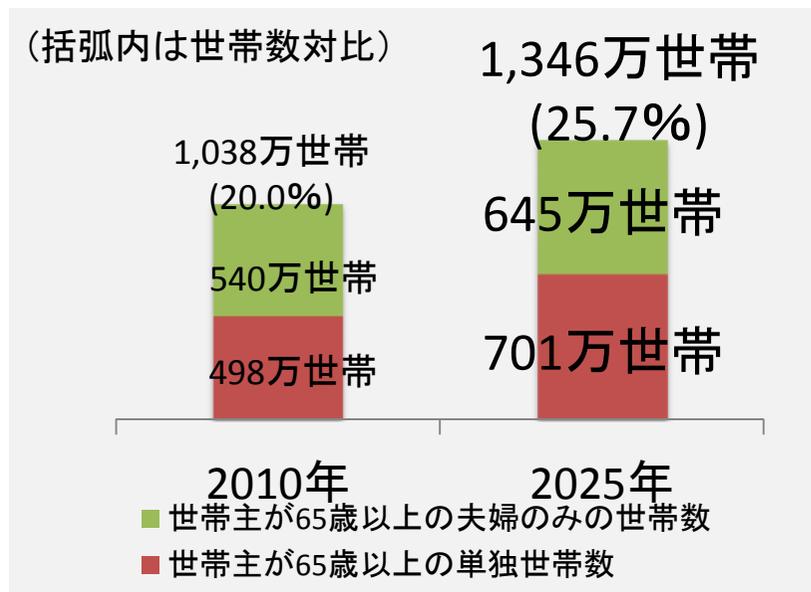
	2012年8月	2025年
65歳以上人口(割合)	3,058万人(24.0%)	3,657万人(30.3%)
75歳以上人口(割合)	1,511万人(11.8%)	2,179万人(18.1%)

認知症高齢者の増加



資料:「日本における認知症の高齢者人口の将来推計に関する研究」(平成26年度厚生労働科学研究費補助金特別研究事業 九州大学二宮教授)による速報値

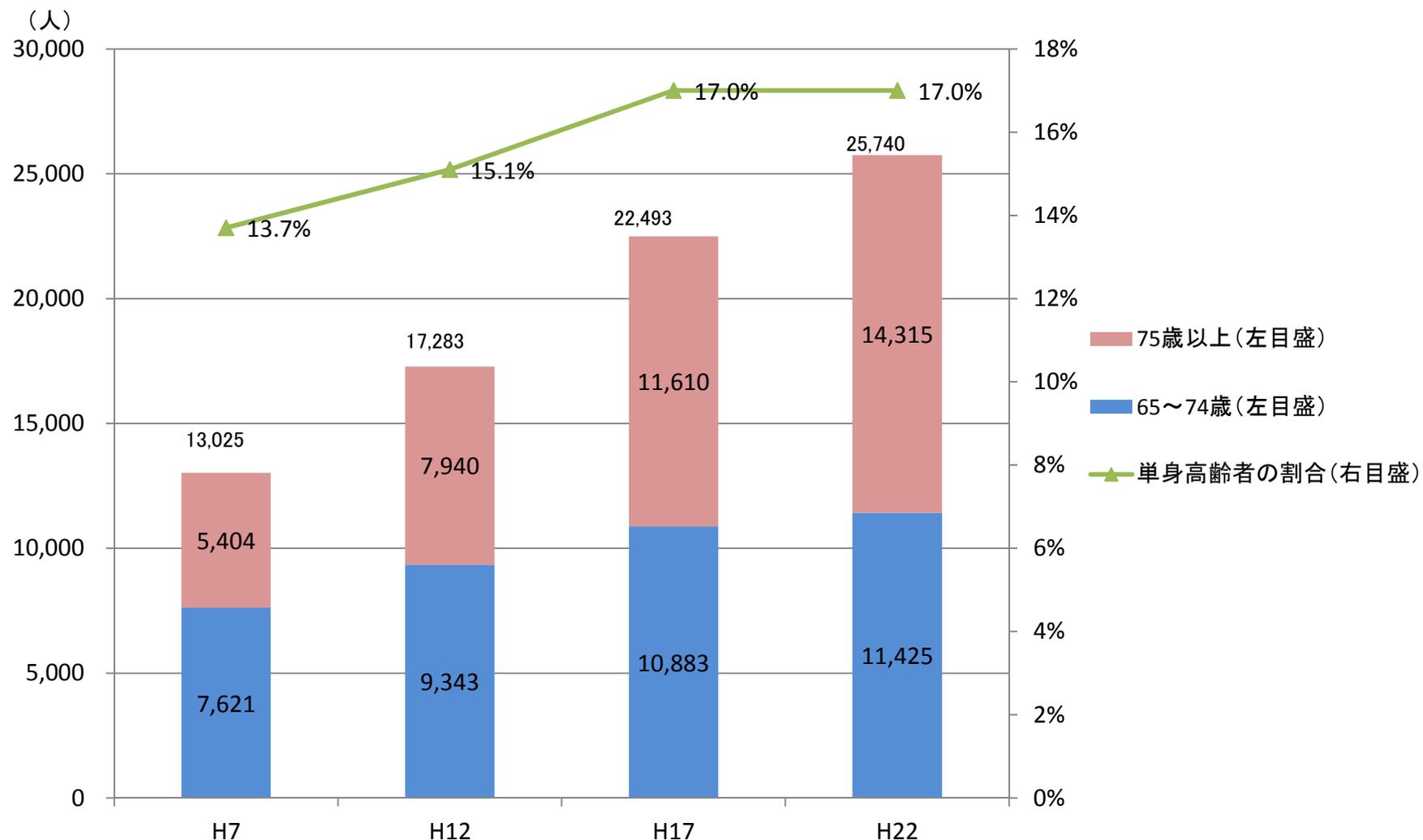
単独世帯・夫婦のみ世帯の増加



資料:厚生労働省資料

岡山市の単身高齢者数の推移

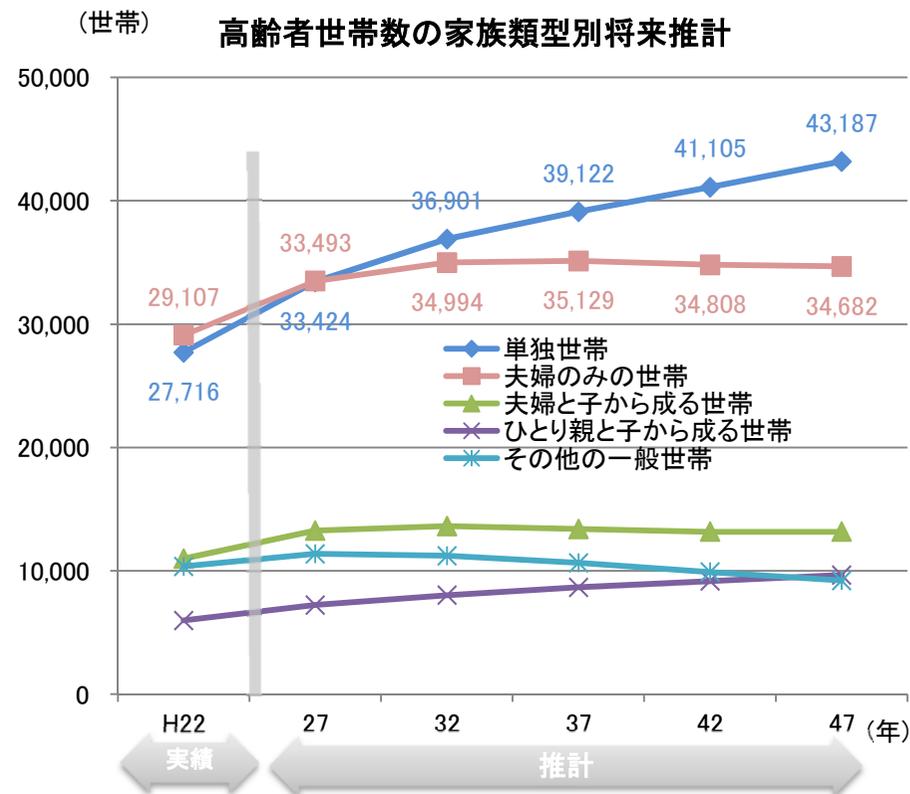
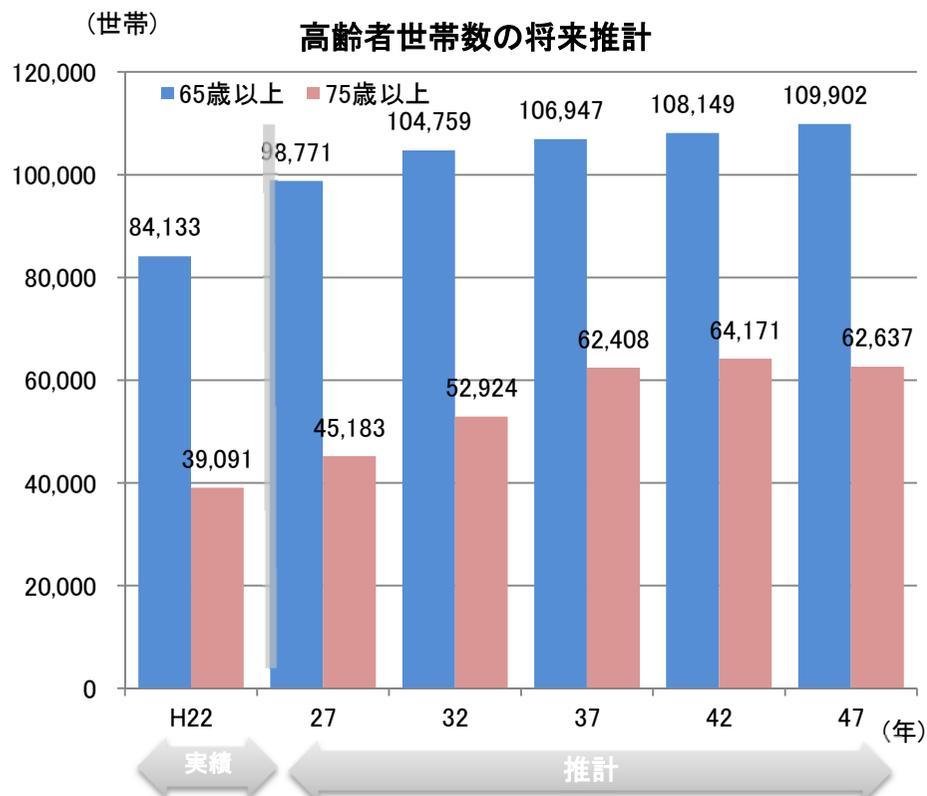
- 岡山市の単身高齢者は、平成22年に25,740人となり、平成7年からの15年間で2倍に増加した。
- 特に75歳以上は平成22年に14,315人となり、平成7年からの15年間で2.64倍に増加した。



資料：総務省「国勢調査」

岡山市における高齢者世帯数の将来推計

○世帯主の年齢65歳以上の高齢者世帯は、平成47年まで増加する見込み。また、このうち世帯主の年齢75歳以上の世帯は、平成42年まで増加し、その後減少する見込み。
 ○家族類型別にみると、現在最多の夫婦のみの世帯は、平成32年まで増加し、その後はほぼ横ばいになる見込み。これに対し、単独世帯は平成47年まで着実に増加する見込み。

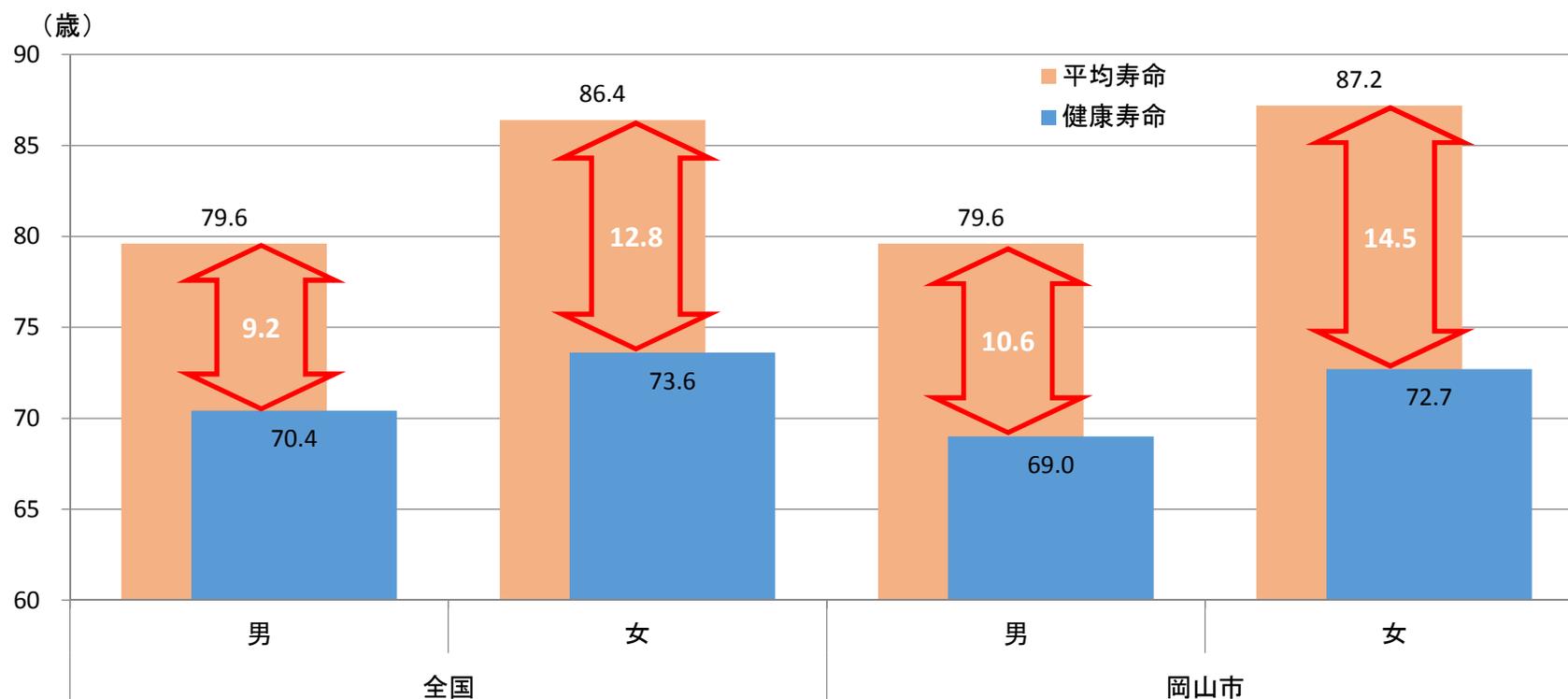


資料: 岡山市推計

岡山市の平均寿命と健康寿命

○岡山市の平均寿命は、男性(79.6歳)は全国と同水準であり、女性の平均寿命(87.2歳)は、全国(86.4歳)よりも上回っている。

○岡山市の男性の健康寿命(69.0歳)と女性の健康寿命(72.7歳)は全国のそれよりも短く、平均寿命との差が大きい。

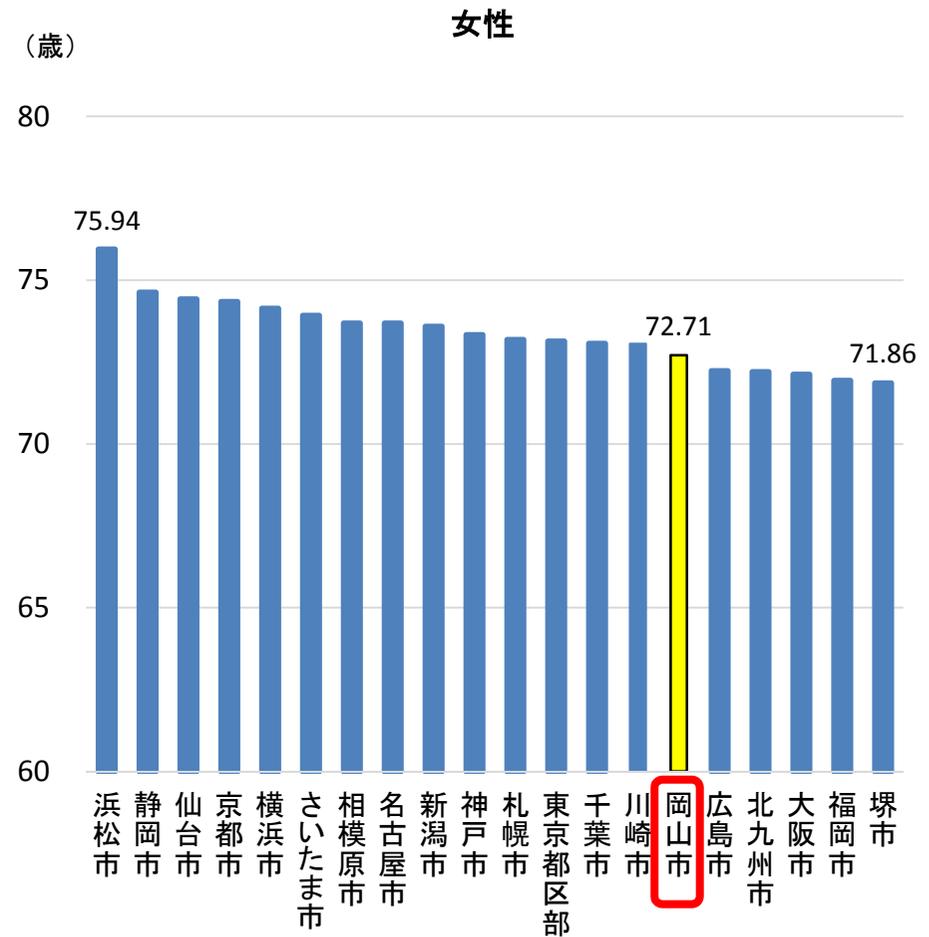
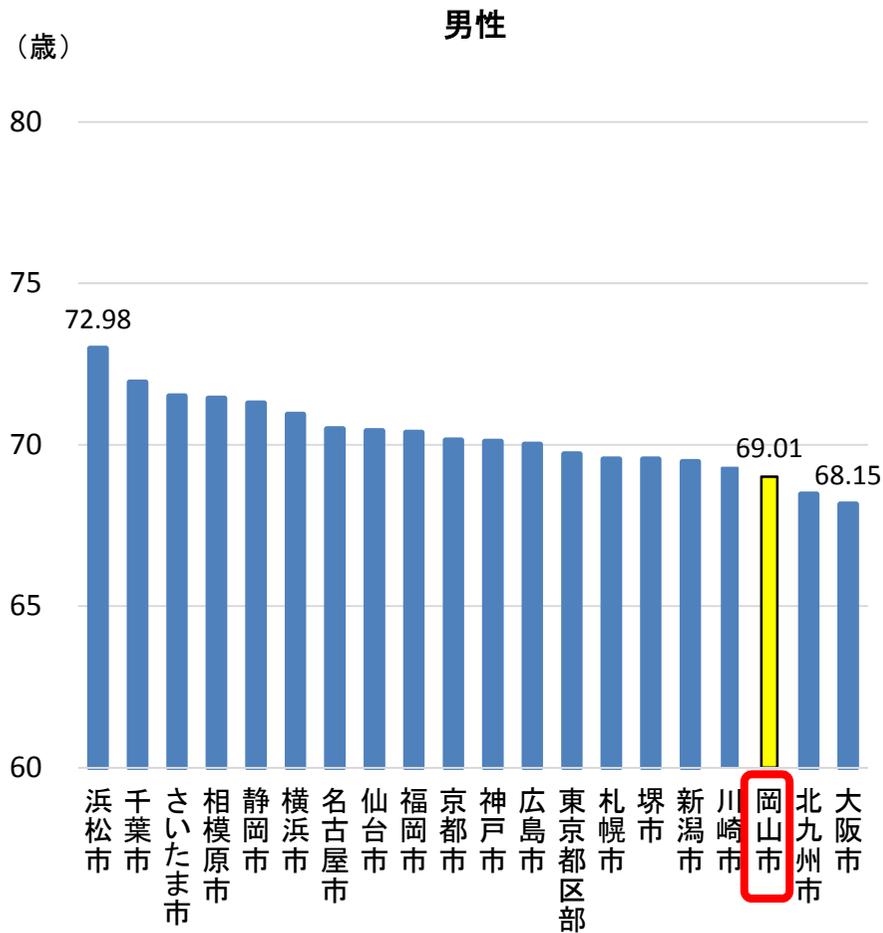


資料:厚生労働省「市区町村別生命表(H22)」、厚生労働省研究班「健康寿命の指標化に関する研究(平成25年度分担研究報告書)」

※健康寿命とは「日常的に介護を必要としないで、自立した生活ができる生存期間」のこと(WHO)

20大都市別 健康寿命

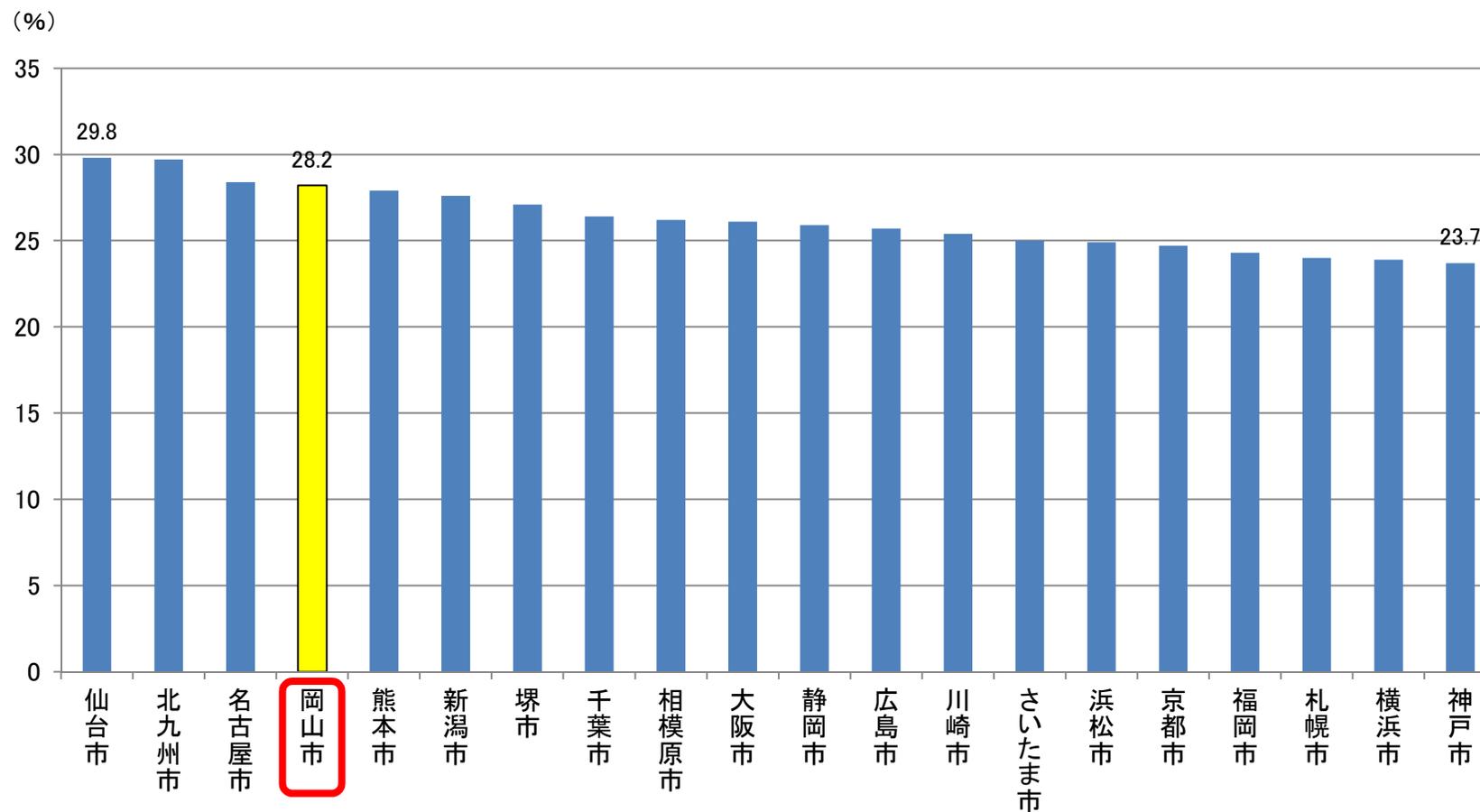
○岡山市における男性の健康寿命は69.0歳であり、20大都市の中で18番目である。また、女性の健康寿命は72.7歳であり15番目である。



資料:厚生労働省研究班
「健康寿命の指標化に関する研究(平成25年度分担研究報告書)」

指定都市別 メタボ該当者及び予備群者割合

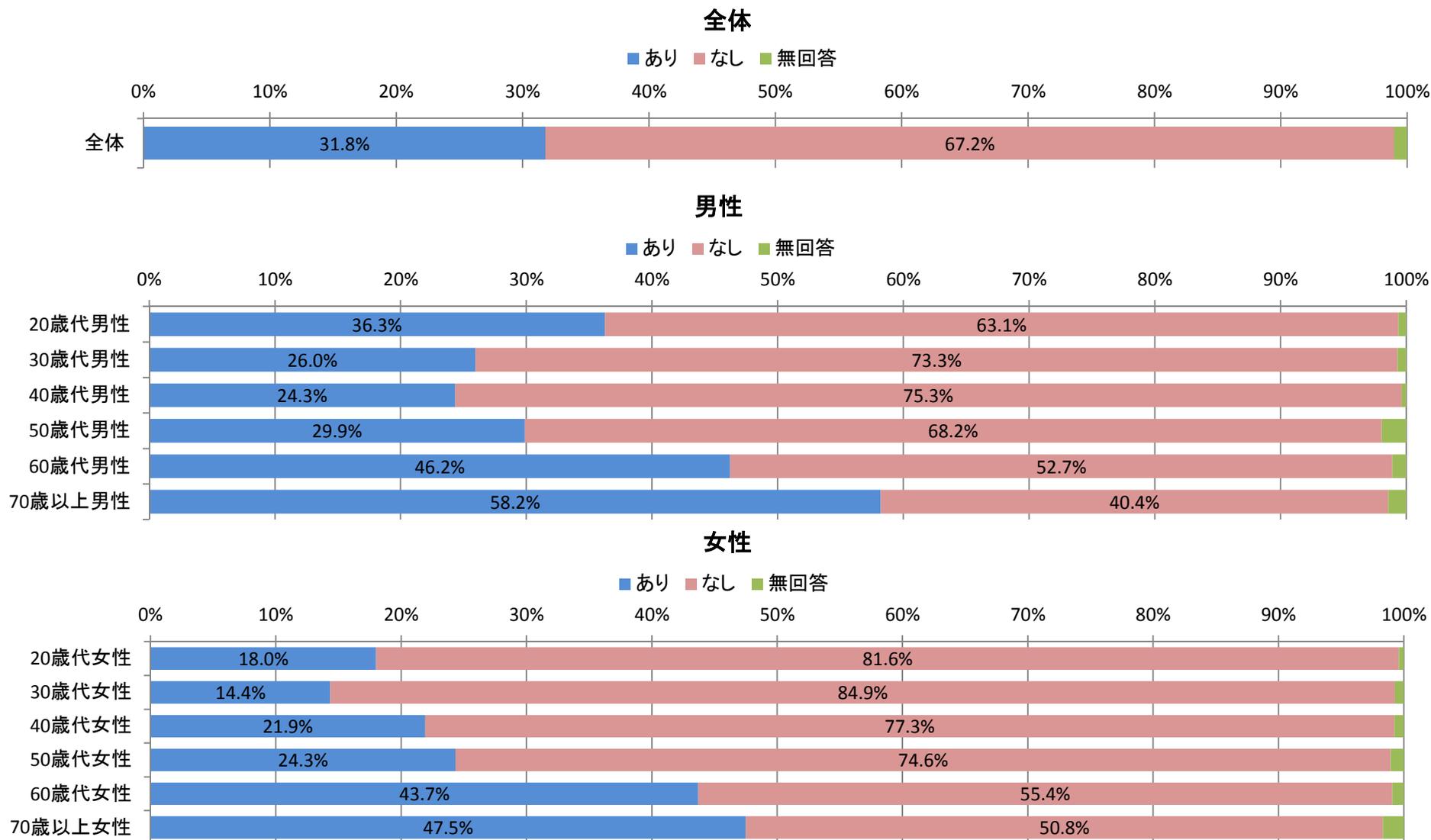
○岡山市における特定健康診査受診者のうち、メタボリックシンドローム該当者及び予備群者の割合は28.2%と、指定都市の中で4番目に高い。



資料:「特定健康診査等実施率(H24)」 指定都市市長会 社会保障部会 調べ

岡山市民の定期的な運動習慣の有無

- 1回につき30分以上の運動を定期的に(週2回以上)、1年以上行っている人は全体で31.8%である。
- 女性よりも男性のほうが運動を定期的に行っている人の割合が高い。
- 男性、女性とも、年齢が高くなるほど運動をしている人の割合が高い傾向にある。

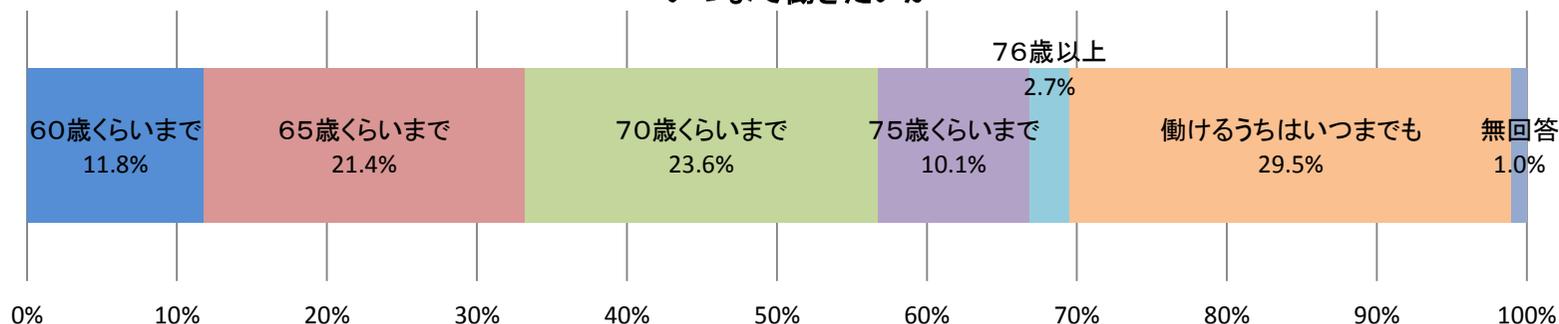


資料:健康市民おかやま21最終評価アンケート(平成23年度実施)

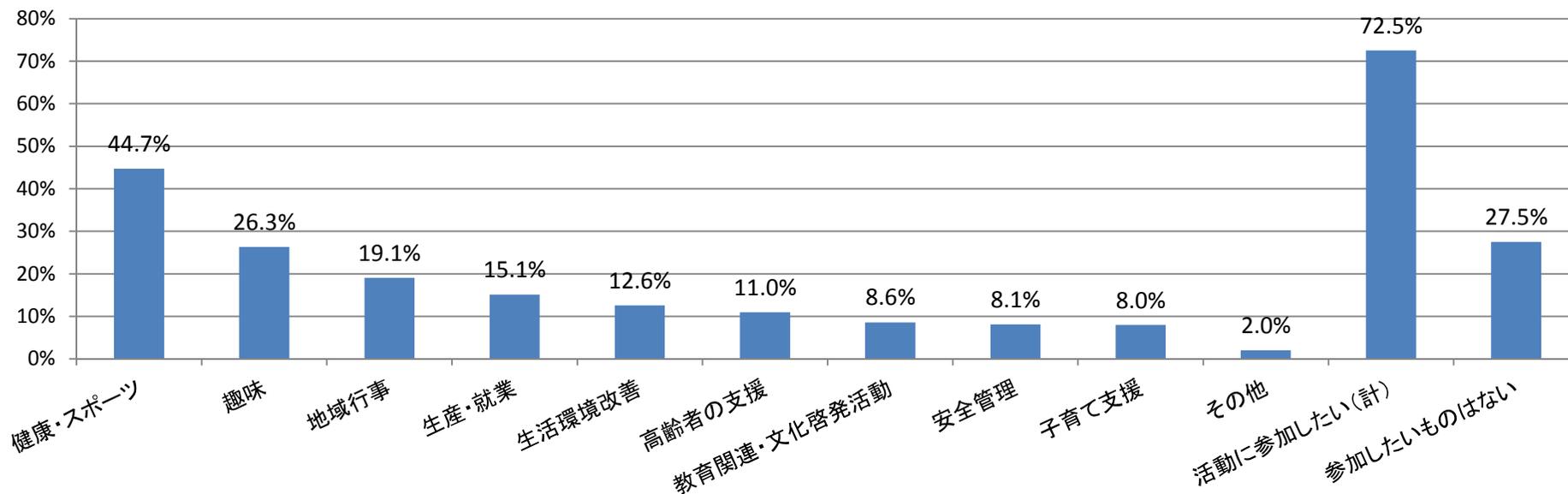
高年齢者（60歳以上）の社会参加意識（全国）

- 60歳以上の約9割が「60歳を超えても働きたい」と回答しており、就業意欲は高い。
- 個人または友人と、あるいはグループや団体で自主的に行われているもので「活動に参加したい(計)」(いずれかの活動に参加したい)と思っている人は約7割になる。
- 参加したい活動は「健康・スポーツ」が44.7%と最も多い。

いつまで働きたいか



参加したい活動

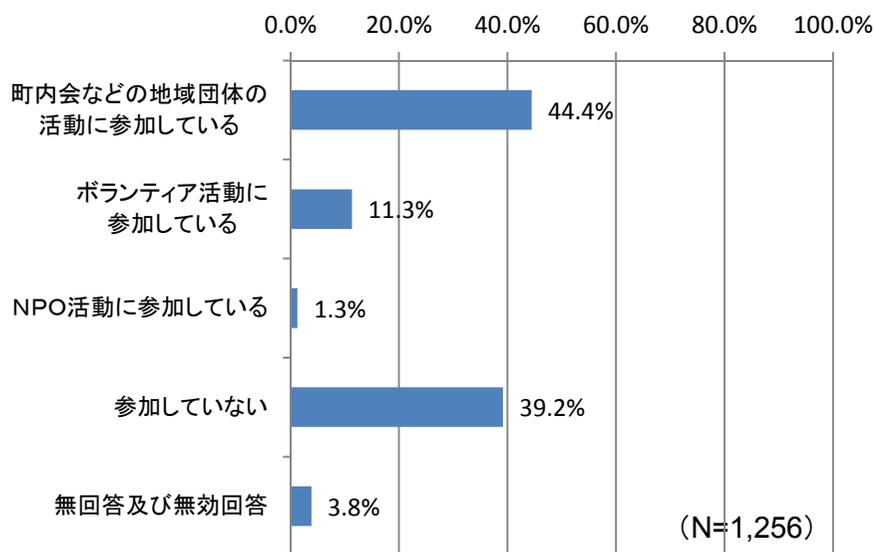


資料：内閣府「高齢者の地域社会への参加に関する意識調査（H25）」

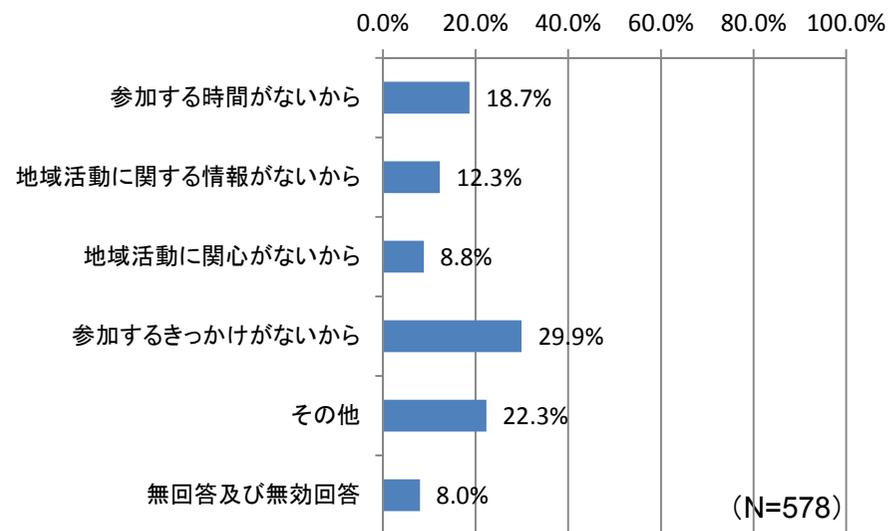
岡山市民の地域活動参加状況(60歳代以上)

○60歳代以上の57.0%の人が町内会、ボランティア、NPO等なんらかの活動に参加しているが、39.2%は参加していない。
○参加していない理由は「きっかけがないから」が29.9%と最も多く、「時間がないから」が18.7%、「地域活動に関する情報がないから」が12.3%となっている。

あなたは地域活動に参加していますか。



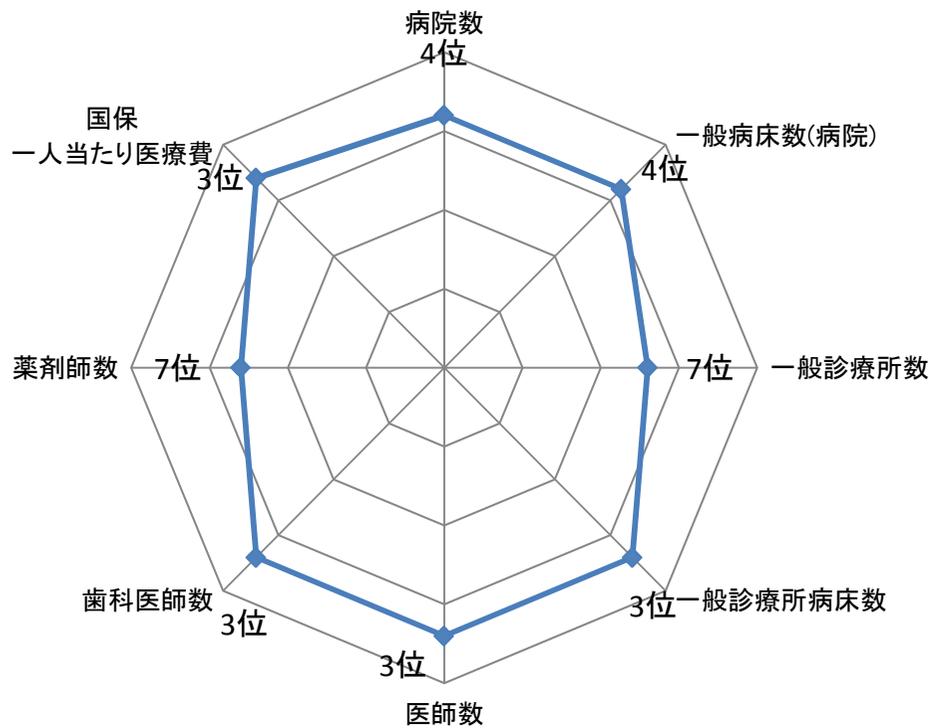
参加していない理由はなんですか。



指定都市における医療資源比較

- 医療資源は人口10万人当たり一般病床数(ベッド数)で4位、同医師数で3位など、指定都市の中でも充実している。
- 国保一人当たり医療費は指定都市の中で3位と高い。
- 岡山市内には多くの医療機関が集積しており、特に岡山大学病院は世界初となる脳死・生体肺移植に成功するなど、最先端の医療を提供している。

人口10万人当たり医療資源に関する本市の順位



岡山市内病院マップ



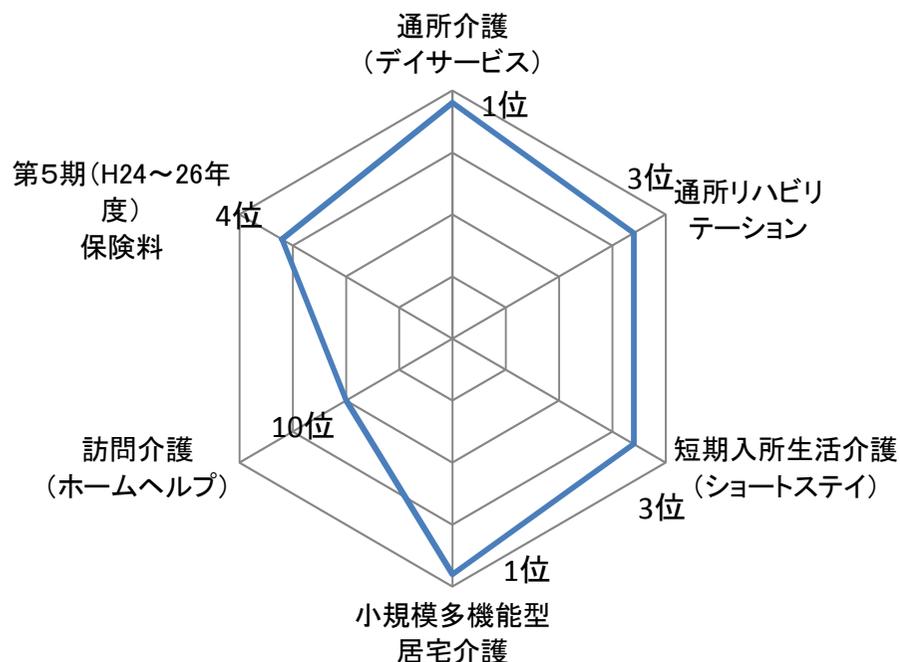
資料:医療費:厚生労働省「医療費の地域差分析(H24)」
 病院数、一般病床数(病院)、一般診療所数、一般診療所病床数、歯科診療所数:
 厚生労働省「医療施設調査(H25)」、総務省「国勢調査(H22)」をもとに作成
 医師数、薬剤師数:厚生労働省「医師・歯科医師・薬剤師調査(H24)」、
 総務省「国勢調査(H22)」をもとに作成

資料:岡山市作成 医療都市パンフレット

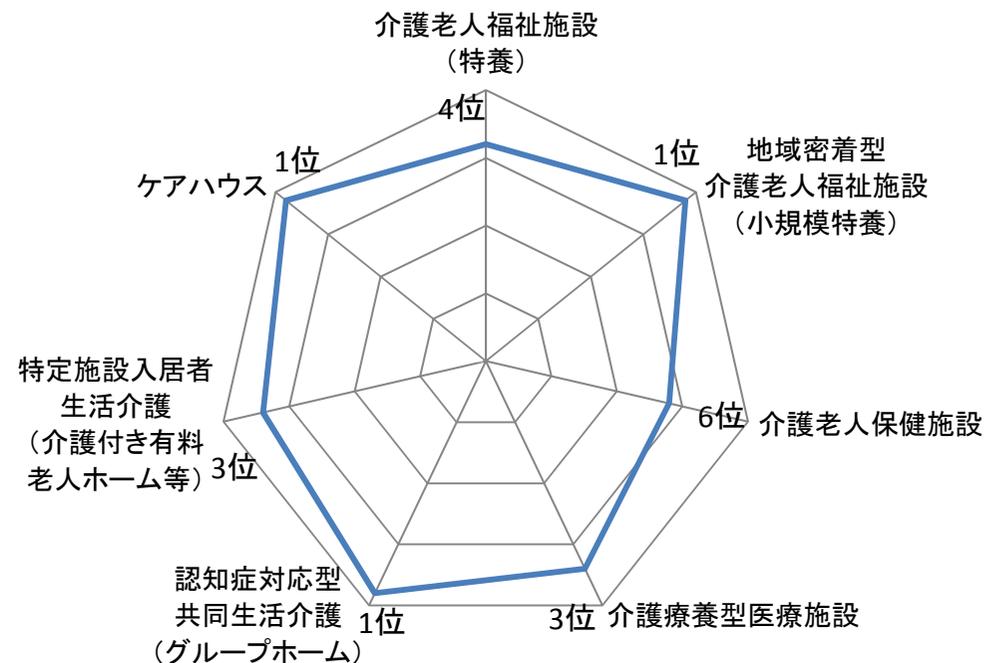
指定都市における介護資源比較

- 在宅系サービス事業所数(人口1万人当たり)は、通所介護1位、通所リハビリテーション3位、小規模多機能1位と、充実している。
- 施設系サービス事業所数(人口1万人当たり)は、小規模特別養護老人ホーム1位、グループホーム1位と、充実している。
- 第5期(H24~26年度)介護保険料基準額は指定都市の中で4番目に高い。

主な在宅系サービス事業所数 本市の順位
(高齢者(第1号被保険者)1万人あたり)



主な施設系サービス事業所数 本市の順位
(高齢者(第1号被保険者)1万人あたり)

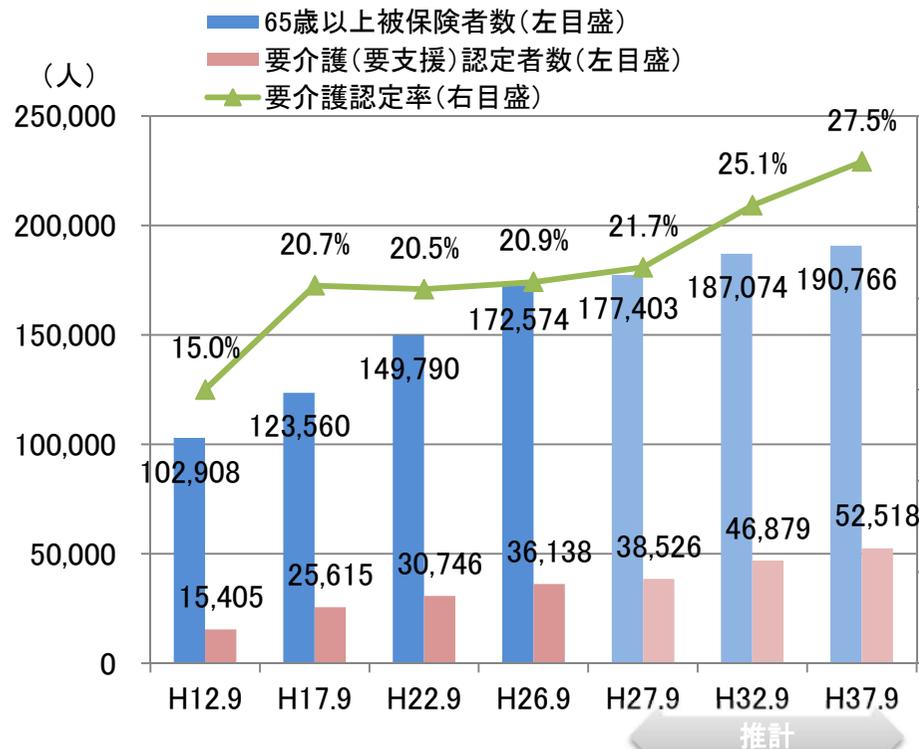


資料:岡山市第3回保健福祉政策審議会資料(H26.3時点データ)

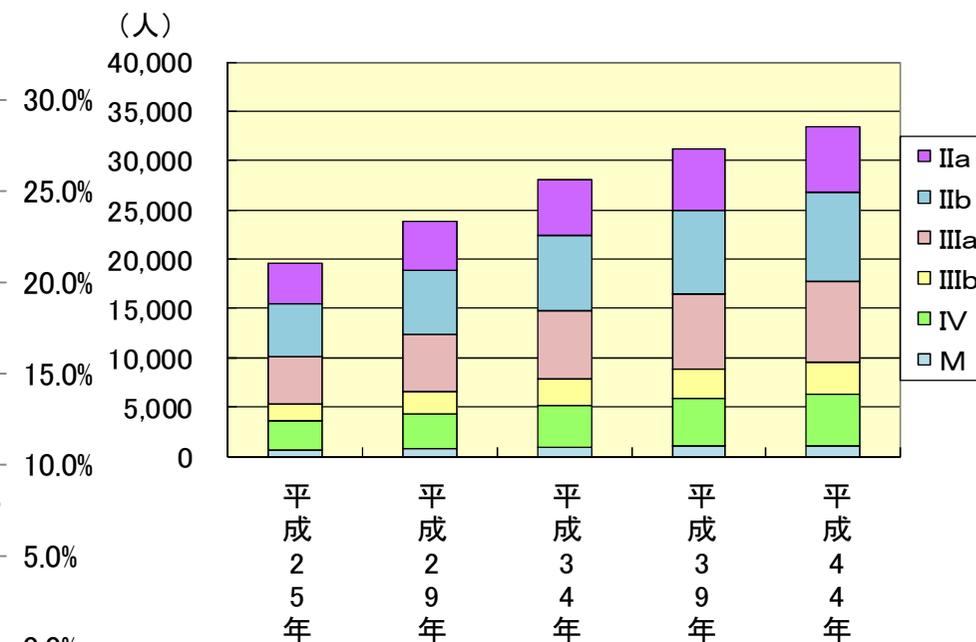
岡山市の介護保険をとりまく状況

- 65歳以上被保険者は、団塊世代の年齢到達等により平成12年から平成26年までの14年間で約7万人(68%)増加した。
- 要介護認定を受けている者は、この14年間で約21,000人(約2.3倍)増加した。
- 認知症高齢者は現在(平成25年)の2万人から平成37年(2025年)には3万人になると見込まれる。

被保険者数、認定者数、認定率



認知症高齢者数の予測人口



※「IIa~M」は認知症高齢者の日常生活自立度の指標

	平成12年9月	平成17年9月	平成22年9月	平成26年9月	平成27年9月	平成32年9月	平成37年9月
65歳以上被保険者数	102,908人	123,560人	149,790人	172,574人	177,403人	187,074人	190,766人
要介護(要支援)認定者数	15,405人	25,615人	30,746人	36,138人	38,526人	46,879人	52,518人
要介護認定率	15.0%	20.7%	20.5%	20.9%	21.7%	25.1%	27.5%

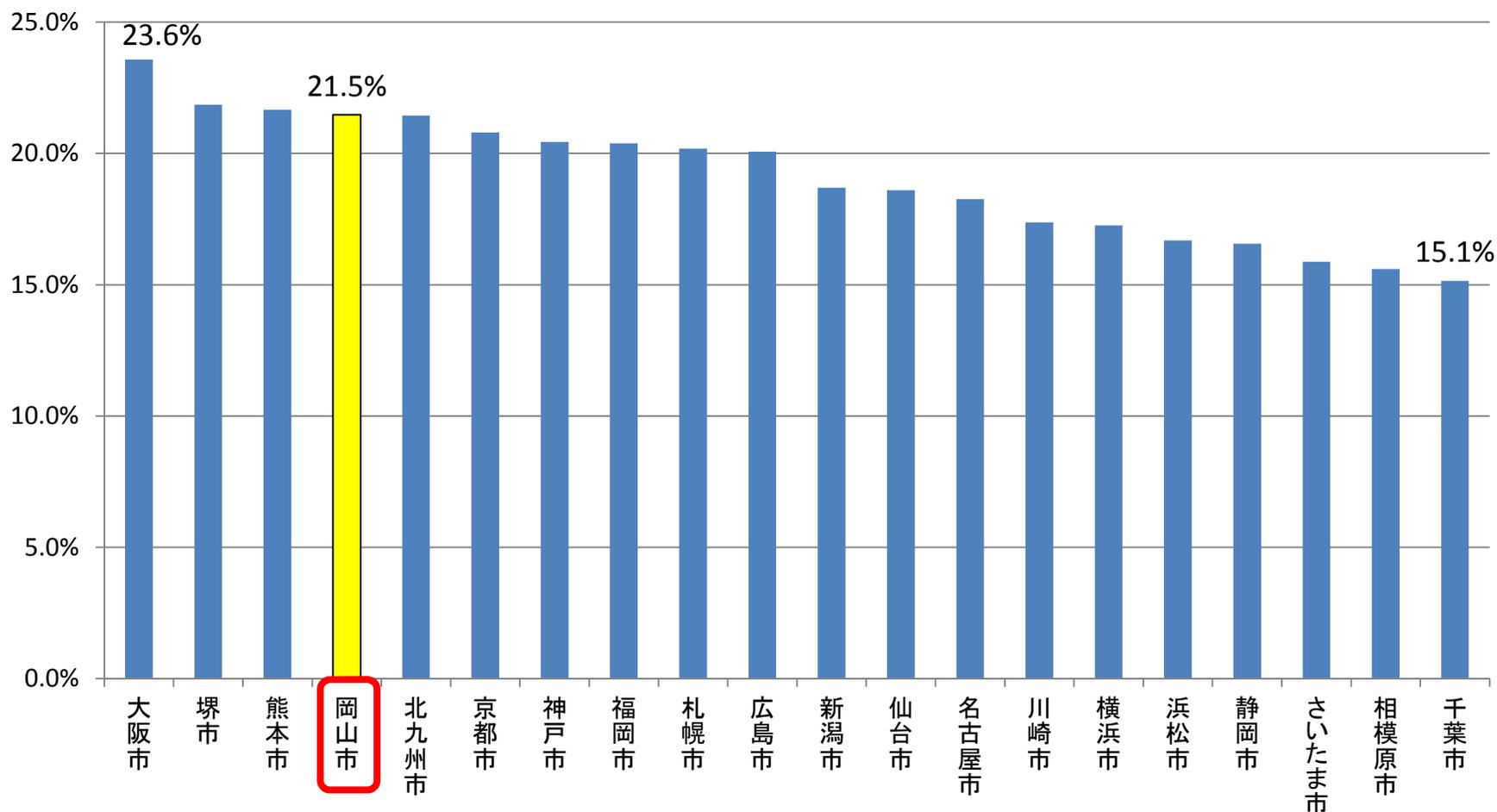
資料:岡山市第6期高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画

「2. 岡山市の認知症高齢者数の予測人口」は岡山市における認知症施策の指針(岡山市版オレンジプラン)(H26年4月)

指定都市別 65歳以上の者のうち要介護(要支援)認定者数の割合



○岡山市における、要介護(要支援)認定者の65歳以上の者に占める割合は21.5%で、指定都市の中で4番目に高い。

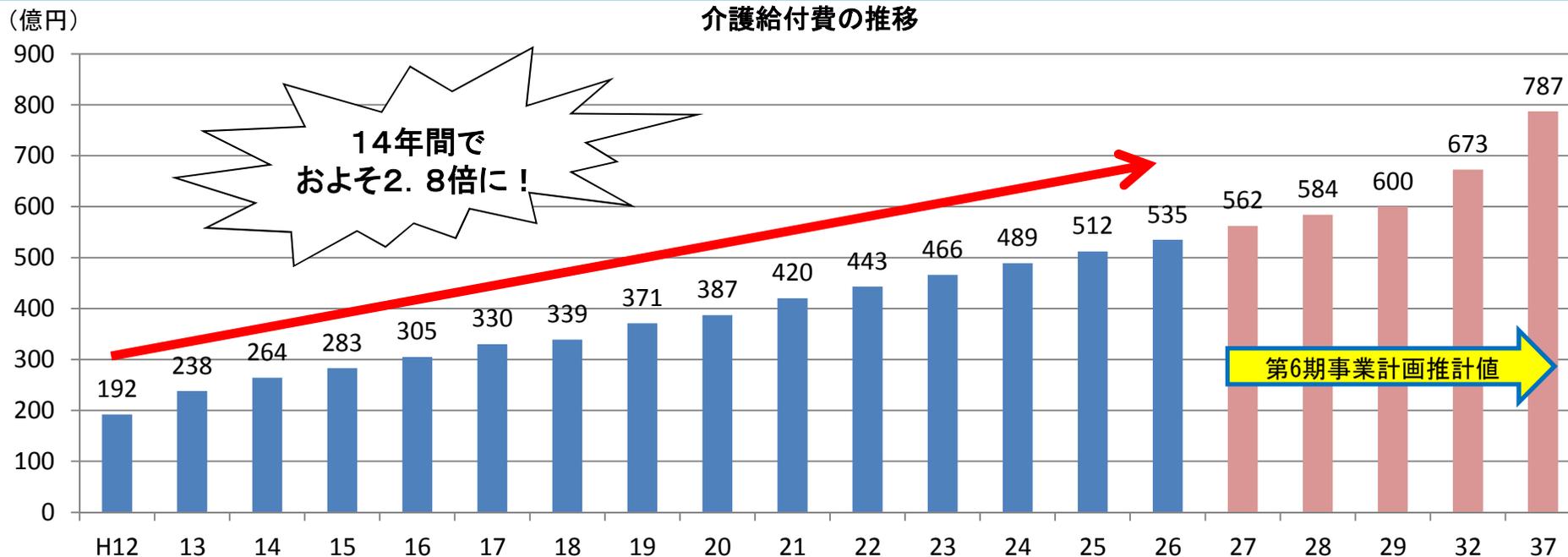


資料：介護保険事業状況報告(H25.10月)

岡山市の介護給付費と保険料の推移

○岡山市の介護給付費は、平成12年度から平成26年度の14年でおよそ2.8倍に増加した。
 (平成12年度:193億円→平成26年度:535億円)

○平成27年度の介護保険料は、月額6,160円であり、平成37年(2025年)には9,000円程度になると見込まれる。

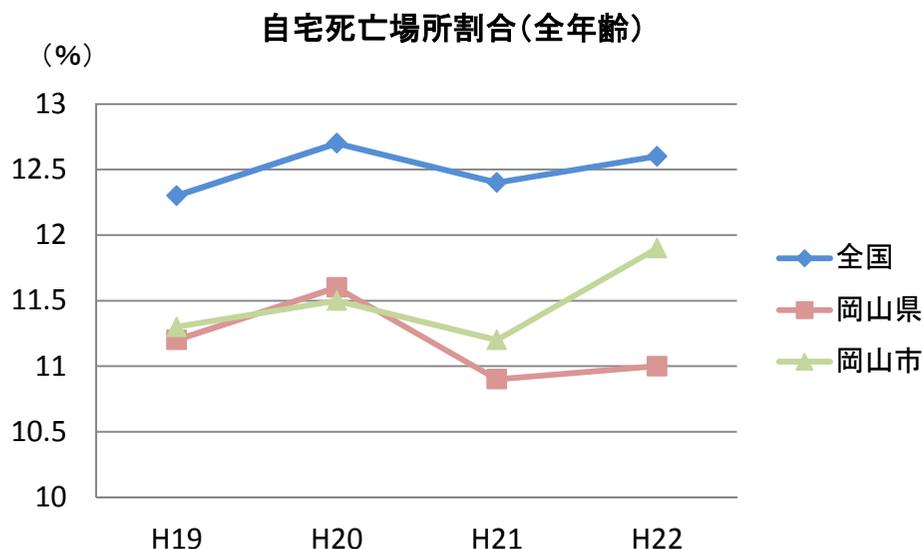


65才以上が支払う介護保険料の推移(月額)

期間	第1期	第2期	第3期	第4期	第5期	第6期	第9期
年度	H12 ~H14	H15 ~H17	H18 ~H20	H21 ~H23	H24 ~H26	H27 ~H29	H37
岡山市	3,384円	3,920円	4,760円	4,760円	5,520円	6,160円	9,000円程度
上昇率	—	15.8%	21.4%	0.0%	16.0%	11.6%	—
全国	2,911円	3,293円	4,090円	4,160円	4,972円	5,550円程度	8,200円程度
上昇率	—	13.1%	24.2%	1.7%	19.5%	11.6%	—

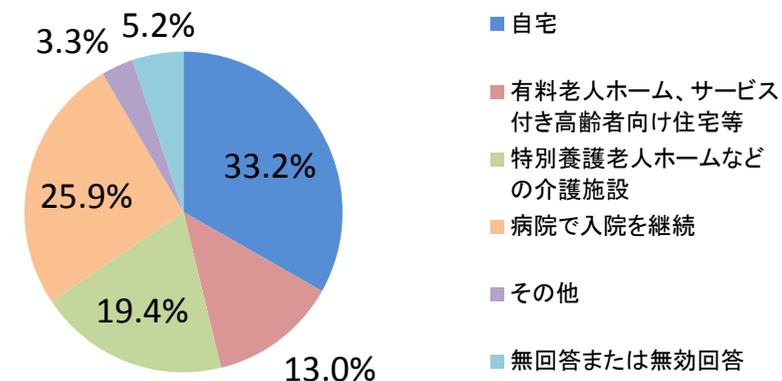
資料: 第6期全国平均の推計値は2015年度予算案報道資料から抜粋
 平成37年全国平均の推計値は厚労省資料から抜粋

○岡山市の自宅での死亡割合は11.0%～12.0%で推移しており、全国に比べると若干低いですが、同様の傾向がある。
 ○医療や介護が必要になった時に過ごしたい場所として自宅が33.2%と最も多い。また、終末期に過ごしたい場所としても自宅が43.8%と最も多い。

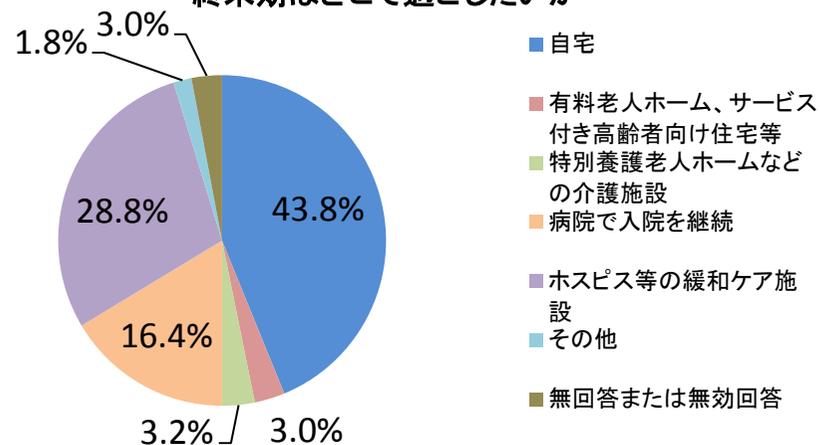


資料:岡山市在宅医療推進方針

医療や介護が必要になった時どこで過ごしたいか



終末期はどこで過ごしたいか

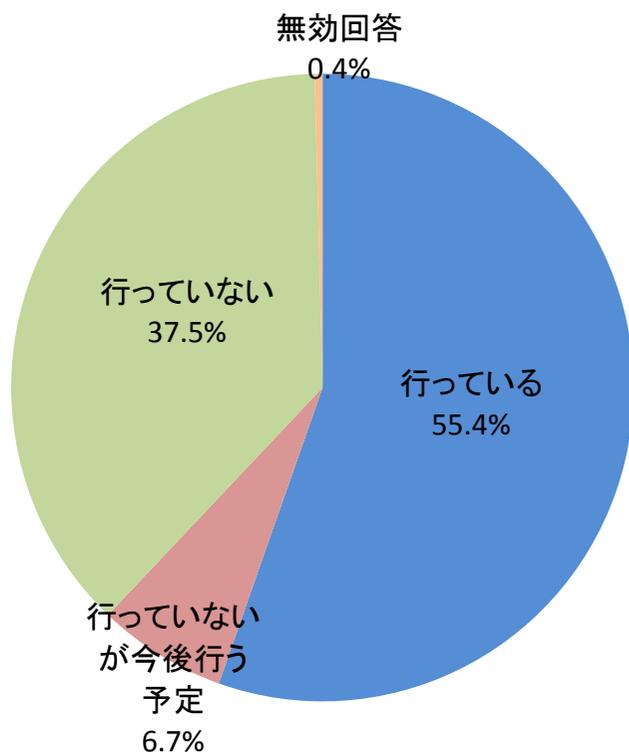


資料:市民や医療・介護の専門機関に対する在宅医療に関する意識調査(岡山市:H24)
 N=1,329

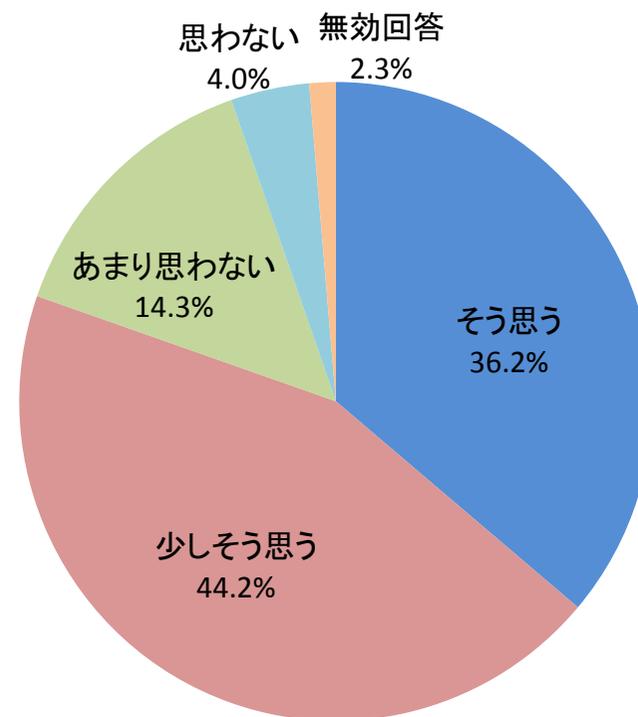
岡山市の在宅医療に関する医師の意識

- 現在、在宅医療(訪問診療)を「行っている」もしくは「今後行う予定」と回答した者は全体の62.1%になる。
- 今後在宅医療は推進すべきと思っている者は全体の80.4%になる。

在宅医療(訪問診療)を行っているか



今後在宅医療は推進すべき



資料: 市民や医療・介護の専門機関に対する在宅医療に関する意識調査
(岡山市: 平成24年)
※在宅医療に関わる診療科224か所のみ分析